

大飯発電所3、4号機のプラント起動状況について
(7月9日(月)14時時点)

1. 定期検査工程の進捗状況

	3号機	4号機
本日の状況	出力上昇試験 ・出力上昇試験 ～01:00 定格熱出力一定運転 01:00～	2次系クリーンアップ ・2次系冷水循環運転(全系統) ～09:00 ・脱気器昇温 ～09:00 ・2次系温水循環運転(全系統) 09:00～
明日の予定	定格熱出力一定運転中	2次系クリーンアップ ・2次系温水循環運転(全系統)

添付資料－1：定期検査工程表

2. 発電所の運転状況(パラメータ)

プラント状態は異常なし

添付資料－2：大飯3号機運転状況(パラメータ 13時時点)

大飯4号機運転状況(パラメータ 13時時点)

3. 諸検査の状況

本日の検査実績なし

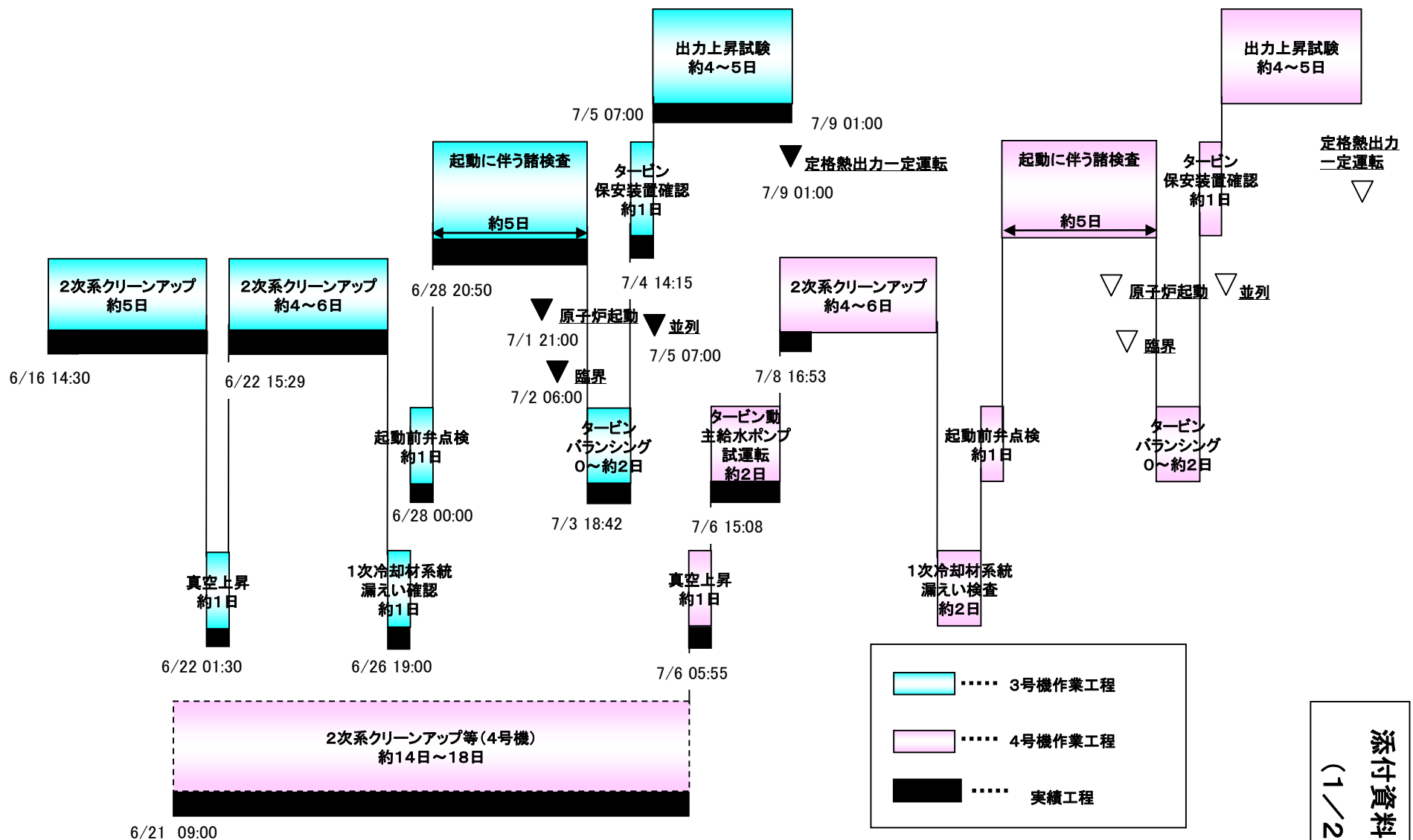
明日の検査予定あり

添付資料－3：検査一覧表

4. 特記事項

- ・7月8日(日)に発生した4号機「情報伝送盤軽故障」警報の対応を実施(添付資料－4)
- ・7月8日(日)くらげ来襲に伴う発電機出力抑制対応を実施

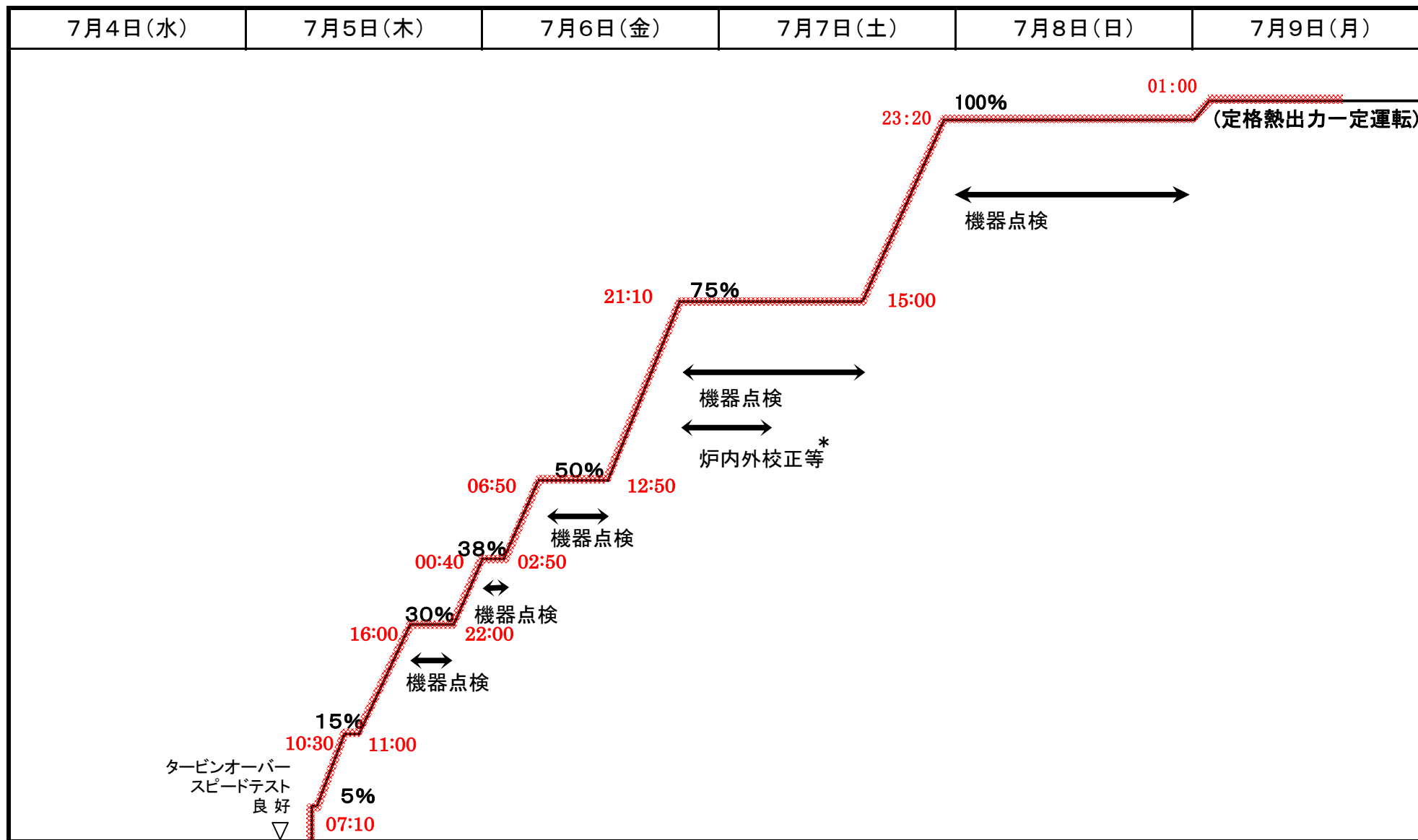
大飯発電所3号機、4号機の作業工程



※作業の状況により、工程を変更する場合があります

添付資料-1
(1/2)

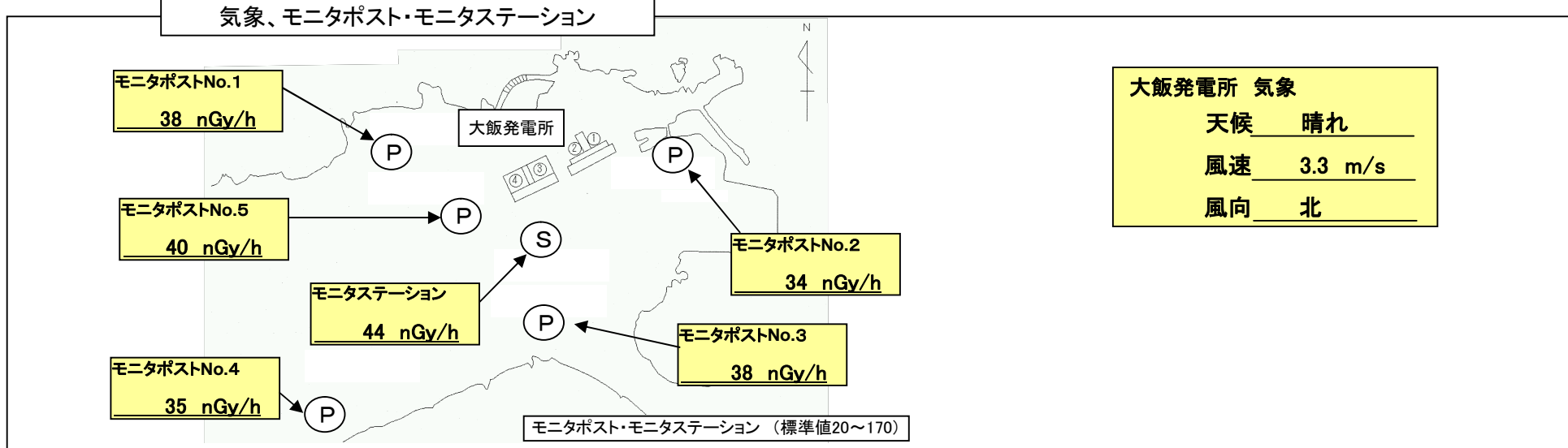
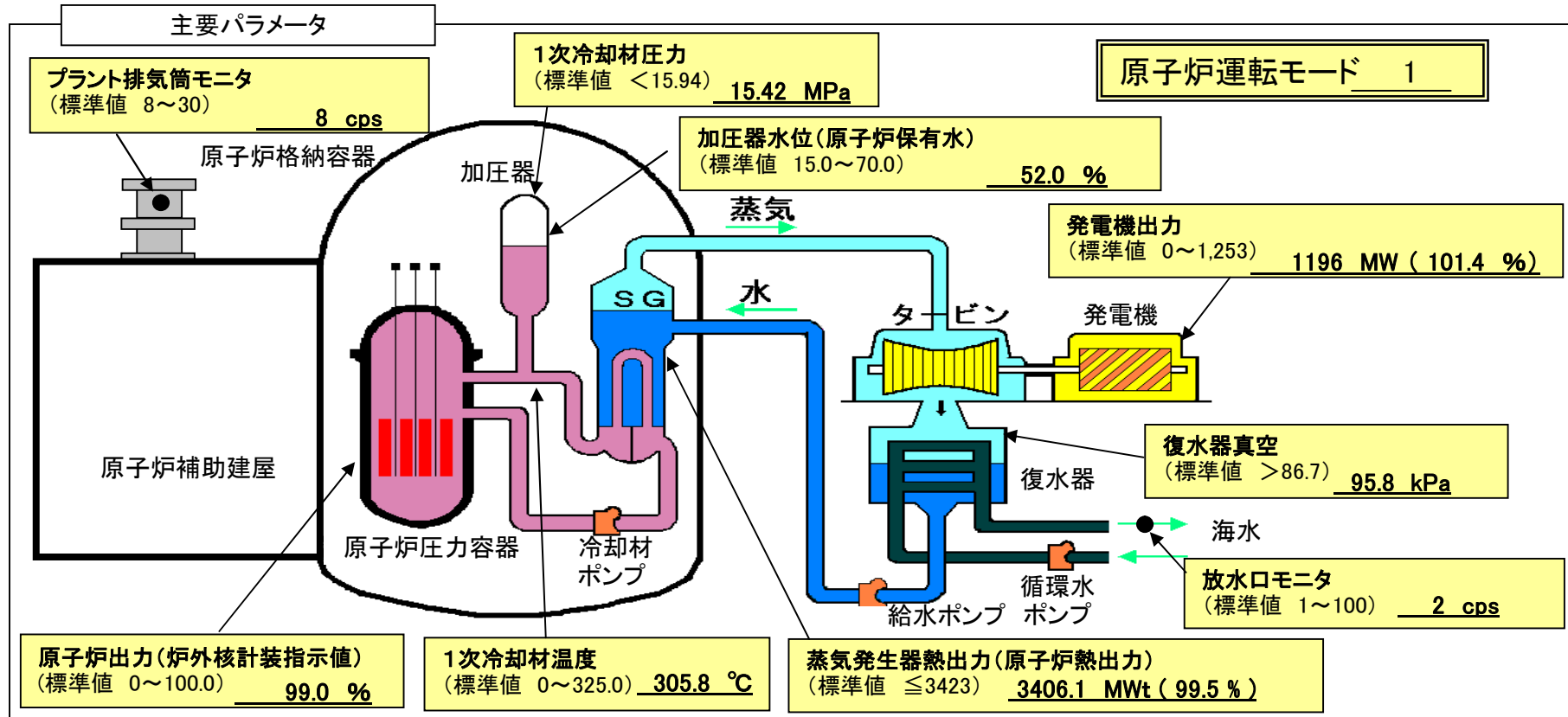
大飯発電所3号機 発電機出力上昇工程



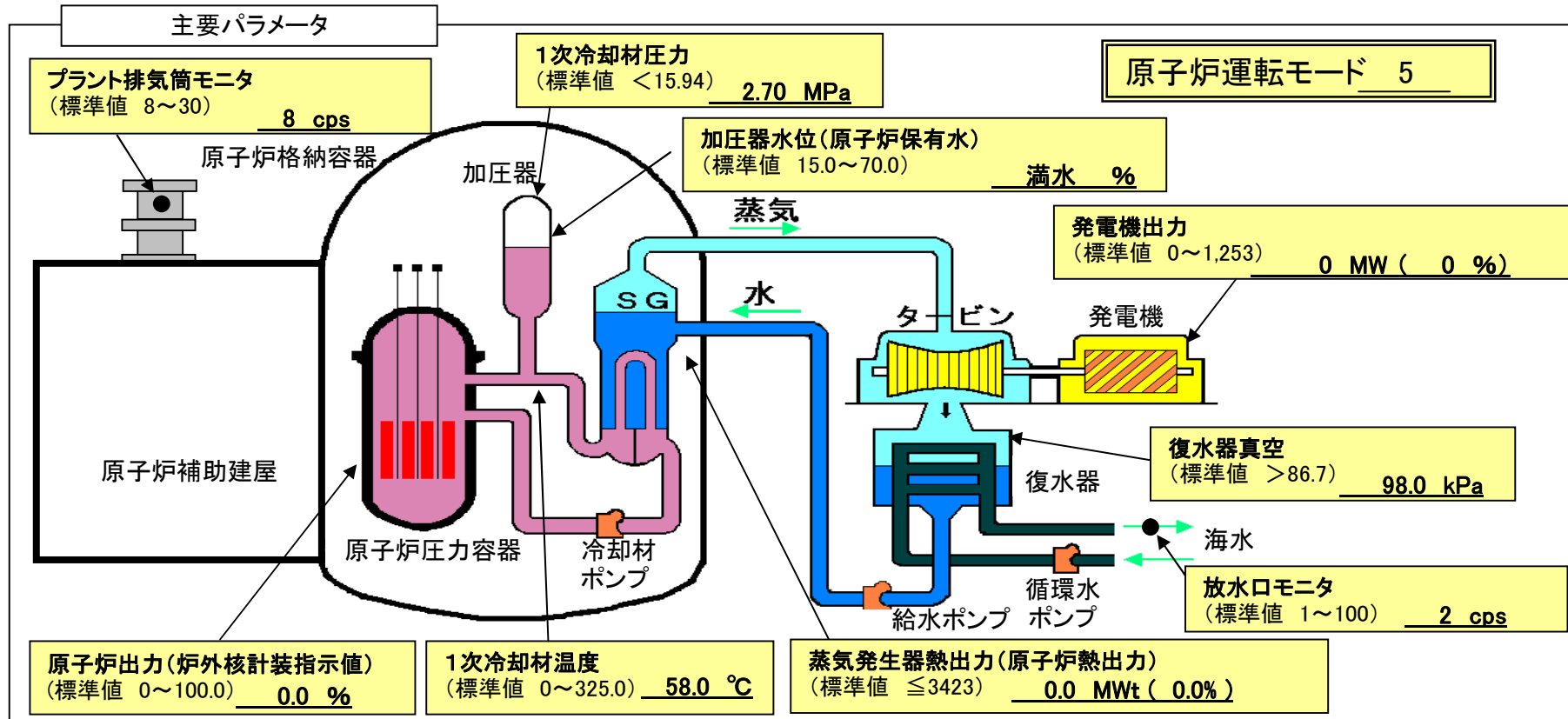
発電機並列
07:00

* : 炉内の出力分布と炉外核計測装置が測定している電流値との相関関係を解析し、解析に基づき炉外核計測装置の校正を行う

大飯発電所 3号機 運転パラメータ (平成24年7月9日13:00時点)



大飯発電所 4号機 運転パラメータ (平成24年7月9日13:00時点)



大飯3号機 検査一覧表(定格熱出力一定運転以降) [7/9(月)]

<定期事業者検査(事業者が実施)>

定期検査 対象	検査名	完了 状況 (※1)	検査実施状況(※2)		
			昨日	本日	明日
☆	総合負荷性能検査				
☆	安全保護系設定値確認検査	一部 完了			
	炉物理検査	一部 完了			
	1次冷却材ポンプ機能検査	一部 完了			○
	核計装設備検査	一部 完了			○
	計測制御系機能検査	一部 完了			
	計測制御系監視機能検査	一部 完了			
	放射線監視装置機能検査	一部 完了			
	2次系配管検査	一部 完了			○
	液体廃棄物処理系機能検査	一部 完了			
	蒸気タービン附属設備機能検査				

<使用前検査(国が実施)>

検査名	完了 状況 (※1)	検査実施状況(※2)		
		昨日	本日	明日
蒸気タービン改造工事(木)使用前検査				
加圧器管台他補修工事(木)使用前検査				

※1: 定期事業者検査の全項目が完了した検査は「全完」、検査を継続するものは「一部完了」と記載。

※2: 昨日から明日にかけて、検査実施日に「○」を記載。

大飯4号機 検査一覧表(定格熱出力一定運転まで) [7/9(月)]

<定期事業者検査(事業者が実施)>

定期検査対象	検査名	完了状況(※1)	検査実施状況(※2)		
			昨日	本日	明日
☆	制御棒駆動系機能検査				
☆	主蒸気安全弁機能検査				
☆	蒸気タービン性能検査	一部完了			
☆	クラス1機器供用期間中検査	一部完了			
☆	蒸気タービン性能検査(タービン過速度トリップ試験)				
☆	加圧器逃がし弁漏えい検査				
☆	補助給水系機能検査	一部完了			
☆	原子炉停止余裕検査				
☆	安全保護系設定値確認検査	一部完了			
☆	制御用空気圧縮系機能検査	一部完了			
☆	蒸気タービン開放検査	全完			
	炉物理検査				
	構造健全性検査	一部完了			
	1次冷却材ポンプ機能検査				
	核計装設備検査	一部完了			
	計測制御系機能検査				
	計測制御系監視機能検査	一部完了			
	放射線監視装置機能検査	一部完了			
	2次系配管検査	一部完了			
	2次系ポンプ機能検査	全完	○		
	総合インターロック検査	全完			
	制御棒位置指示装置設定値検査	一部完了			

<使用前検査(国が実施)>

検査名	完了状況(※1)	検査実施状況(※2)		
		昨日	本日	明日
加圧器管台他補修工事(イ)使用前検査				

※1: 定期事業者検査の全項目が完了した検査は「全完」、検査を継続するものは「一部完了」と記載。

※2: 昨日から明日にかけて、検査実施日に「○」を記載。

7月8日夜の原子力安全・保安院からの発信メール

大飯発電所4号機でタービン動主給水ポンプの試運転中に警報が発生（消灯済）
（第2報）

本日(8日)午前に発生した、タービン動主給水ポンプの試運転中の警報に係る続報です。
警報の発報原因を調査したところ、ポンプの回転数を上限（定格の103%）まで上昇させたことにより発生した警報（「発信が予想されている警報」に該当）をリセットする際、ポンプの回転数を制御するシステムを予備系に切り替えたため、「情報伝送盤軽故障」警報が中央制御室で発報したとのことです。

その後、当該ポンプの回転数を制御するシステムについては、常用系、予備系ともその健全性が確認され、現在は常用系により運用されています。本警報は一連のポンプの試運転に伴い発生するものですが、事前に「発信が予想されている警報（検査に関係する警報）」とは整理していなかったということです。

そのため、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画どおり起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

本事象は法令上問題となるものではなく、外部への放射性物質による影響、作業員等の被ばくはありません。

本件については、明日の現地の定例会見の際に説明いたします。

（以下、第1報の内容）

本日11時35分から38分（3分間）、大飯発電所4号機の中央制御室で、タービン動主給水ポンプの試運転中に警報が発報しました。

現在、警報は消灯しています。

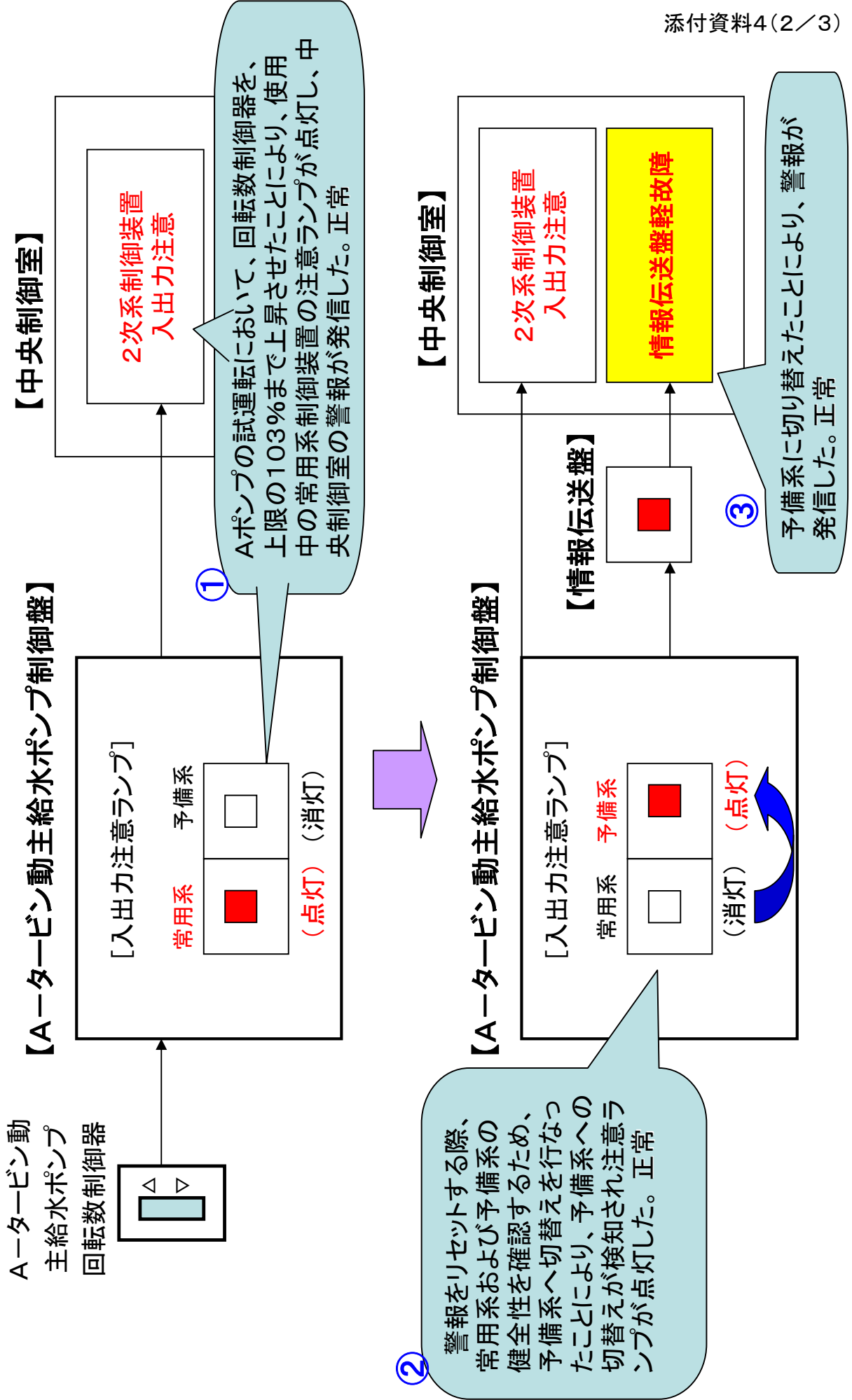
この警報は、4号機のタービン動主給水ポンプ（A）試運転における運転操作において、試運転に伴い発生していた警報のリセット操作を11:35に行ったところ、「情報伝送盤軽故障」警報が発報したものです。

その後、この警報は11:38に消灯しています。

警報が発報した原因については現在調査中です。

なお、発電所内において、異常は確認されておらず、外部への放射性物質による影響はありません。

情報伝送盤軽故障発信のメカニズム



A-タービン動主給水ポンプ制御盤

